



第57回宮崎県統計グラフコンクール

身のまわりの出来事や興味のある事をテーマに、
統計グラフを作ってみませんか？
統計グラフを作ると、新たな発見ができるかも！

1 テーマを決める

興味があることや、人に伝えたいことなどを
テーマにしよう！ …………… ①

2 調べる

- ・アンケートや観察をする
- ・本やインターネットなどで調べる

3 調べた結果を整理する

アンケートの結果をまとめたり、調べた結果を
表などに整理しよう！

4 結果をもとにグラフを作る

- ・グラフは内容に適したものを使おう！
(棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフなど)
- ・表題を書く …………… ②
- ・誰にアンケートしたのか、何の資料を利用したのかを書く …………… ③
- ・目盛は「0」から書く …………… ④
- ・単位を書く …………… ④

5 グラフを使って分かったことを書く

グラフを使って新たに分かったことや、感想などを
まとめよう！ …………… ⑤

1 宮崎県の合計特殊出生率維持のために！

合計特殊出生率とは
「15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生涯に生むとしたときの子ども数に相当する。※1

2 全国の合計特殊出生率の推移 (令和3年の上位4県と全国を併せたグラフ) ※2・3

4 左の資料を見て分かることや今後の目標 (全国・沖縄・宮崎・東京の数を表しています)

- ・上位に九州が多い
- ・全国的に低下している
- ・宮崎県は沖縄に次ぐ数値を維持している

※1 宮崎県は前年より0.14ポイント低下し1.49になったが「日本一低み得てすい項」(2026年には1.81を目標)下方向は変えないことを念頭に置いている。※4

※2 また、宮崎県は前年より0.14ポイント低下し1.49になったが「日本一低み得てすい項」(2026年には1.81を目標)下方向は変えないことを念頭に置いている。※4

※3 いずれにしても今後の対策を真剣に考えていく必要があると考えられる。

なぜ全国に比べて九州・沖縄が高いのか！
(今回は宮崎県に注目してみる)

一つの理由として、若い年齢で結婚する人が多いことがあげられる。右の資料は宮崎県と全国の平均初婚年齢の推移である。全国と比べて若い年齢で結婚していることが分かる。若い年齢で結婚するということは子どもを産む年齢も比較的若く、生涯に産む子どもの数が多くなると考えられる。また、宮崎県は第3子・第4子の出生率が高いが、第1子の出生率は全国を0としたときに-0.05と低い出生率になっている。※5

一方で、2023年に結婚された数は3592組と2021年の3885組より約30組減少し、※4(出会いの場が少ないことや結婚をせずに事実婚を選択する人たちが増えたことが減少した理由と考えられる)

令和元年度結婚・子育て意識調査の結果によると・・・※7

結婚するようになる不安や焦りは何とないですか？

順位	割合
1位	42.3%
2位	39.7%
3位	34.0%

子育てに際してどのような悩みや不安を感じますか？(選べましたか)

順位	割合
1位	56.3%
2位	41.1%
3位	27.9%

宮崎県は全国の中でも上位の割合を占めているが、年々低下していることが分かった。今後の宮崎県の合計特殊出生率を維持するためには、お金の問題を解決していくことが大事だと感じています。上のグラフを見ると、子育ての不安の第一位が「お金の不安」です。宮崎県は子育て資金の不足を約13.5億円に上ると推計しています。※4例えば、「資金を幼稚園や学校などの施設に使う」や「削製の削減化」などが対策として挙げられるを私は思います。お金の不安で子どもを産むのを躊躇することを繰り返すことはあってはならないと思います。今後の対策で宮崎県の合計特殊出生率が回復して、くれることを私は願っています。

※1 厚生労働省「合計特殊出生率について」<https://www.mhlw.go.jp/buisei/saikin/hw/jinkou/sakutei22/01/rf.pdf> (2023年)

※2 厚生労働省「人口動態統計」https://www.prof.miyazaki.jp/documents/10728/10758_20231026105655-1.pdf (2023年)

※3 NHKニュース <https://www3.nhk.or.jp/news/html/2024/06/05/14171471008.html> (2024年6月)

※4 河野知事公室資料 <https://www.prof.miyazaki.jp/buisei/saikin/saikin/saikin/20240618151514.html> (2024年)

※5 第1回 未来につなぐ少子化対策調査結果 研究会宮崎県の出産率及び人口動態の実態等 https://www.prof.miyazaki.jp/documents/8282/8282_202312161658-1.pdf (2023年10月)

※6 宮崎県「平均初婚年齢の推移」https://www.prof.miyazaki.jp/documents/10758/10758_20221030102544-1.pdf (2022年)

※7 令和元年度 結婚・子育て意識調査 調査結果報告書 https://www.prof.miyazaki.jp/documents/47037/47037_20200113132256-1.pdf (2019年)

第56回宮崎県統計グラフコンクール 第6部 入選
橋本 一葉さん (宮崎県立日南振徳高等学校)の作品

応募上の注意点

(1) 応募上の注意点

- ゆるキャラや五輪マークなど第三者が作成したイラストや写真を使用しないでください。
- 自分で調査や観察を行った場合は、その記録を添付して提出してください。
- 自分の調査・観察ではなく、外から資料を得た場合は、資料の出所をグラフ作品に明記し、その資料を添付して提出してください。
- 統計資料を使用した場合は、いつの時点の資料かを明記してください。
- 資料の数値等と作品のグラフ表示(数値等)を一致させてください。
- グラフの目盛り、単位の取り方、文字・数字は正しく記載してください。
- 小中学生の作品で、グラフ部分をパソコンで作成したものは、第5部に応募してください。

(2) 応募作品の規格等

- 規 格 仕上げ寸法B2版(72.8cm×51.5cm)とします。
- 紙質・色彩 紙質・色彩は自由ですが、裏面の板張り(パネル仕上げ)、表面のセロハンカバーは認めません。
- 応募作品数 1人の応募作品数は制限しませんが、2枚以上にわたる「シリーズもの」は認めません。
- 合作の人数 1作品について、5人以内とします。

学校への「出前授業」や、「親子統計グラフ教室」も行います！



詳しくは、県庁ホームページにて「宮崎県統計グラフコンクール実施要領」をご覧ください。 [宮崎県 統計グラフコンクール](#)